

きどころイントラの 教本に載っていないワンポイント座学

2025 年 3 月 8 日

第 11 回 春のコンディションが危険な理由

3月になりました。そろそろ春です。

暖かくなってきたのでパラグライダーで飛びたくなりますよね！？

でも【春のコンディションが危険】と聞いたことはありますか？

残念ながら**実際に春はスカイスポーツの事故が多く発生しています**。

件数としては夏と同程度なのですが、フライト数で割ると春の方が多くなります。

今回は「**何故春は危険なのか？**」をきどころ的に解説します。

是非よく理解して、自分の安全を守って下さい。



① 久しぶりに飛ぶから

冬は寒いし北西風が強いので、**フライト頻度が落ちやすい**です。

すると1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月とかの**久しぶりのフライト**になりやすいです。

人間の感覚は時間の経過とともに鈍ります。

特に本数の少ない方や、フライト頻度が少ない方は鈍りやすく、

中には頻繁に飛んでいても感覚が鈍りやすい方もいます。

しかも春の朝はまだ気温が低く、**身体が硬くなりやすい**です。

そんな方が春の陽気に誘われ、直ぐにテイクオフに上がったらどうなるでしょうか？

かなりの高確率で立ち上げ失敗、もしくはテイクオフ失敗をします。

対策として前のフライトから1ヶ月以上空いている方は、いきなり山に上がらずに**立ち上げ練習**、もしくは**斜面練習**から始めましょう。『俺は沢山飛んでいるから大丈夫だ！』と驕るのは危険です。

他にも、**飛ぶ前の風の観察**、**イメージトレーニング**等も非常に重要です。

不安であれば**テイクオフスタッフのアドバイス**を自分から聞きましょう。

それだけで失敗する確率は大幅に減ります。



②春の風は不安定

春の太平洋側は**空気が乾燥**しており、晴れの日には朝と日中の**気温差が大きい**ので、**強い上昇風**が出やすくなります。上昇風が出ればそれに伴う**下降風**や**巻く風**も増えて、**とても不安定**になります。

すると**グライダーの操作も格段に難しく**なります。

今まで出来ていた事も、不思議なくらい、「あれっ？」とミスしてしまいます。

テイクオフで**失敗してしまうのも【当たり前】**と言えなくもないのです。

スクール生は春の晴れの日中フライトはなるべく避けましょう。

特に **GW 前後**は内陸と海水の温度差が大きくなるため、突風の様な**強い海風**が入りやすくなります。用心すぎるくらい気を付けましょう。



③周りの雰囲気流されない様に

春は強い上昇風で高く上がるため、**ベテランにとっては絶好のコンディションとも言えます。**

特に遠くまで距離を延ばす **XC フライト**をする方は、大会の様に大勢でテイクオフ＆フライトする事があります。

その**雰囲気に流されてしまうと**、自分の力量を見失いやすくなります。

自分の力量とは『フライト技術・知識・判断力・身のこなしとグライダー性能と乗りこなし具合の総合力』になります。

他の人が大丈夫だったから自分も大丈夫とは限りません。

春は特に**謙虚に判断**するようにしましょう。

